



### ご挨拶 会長 樋口 満

御殿坂、石垣の上の白い壁、心字池の松、運動場から続く臥牛の峰、そして松山城。学生の頃の風景が、ふとした折々に思い起こされるこの頃です。同窓生の皆様におかれましては、お元気で過ご

しのこととお喜び申し上げます。日頃より高梁高校同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、同窓会の役割は、母校とのつながりを保つだけでなく、世

代を越えた交流や相互支援の場を提供することにあります。近年では、コロナ禍を経て、対面での活動の重要性が改めて見直され、各支部でも再開を喜ぶ声が多く聞かれるようになりました。また、若い世代も徐々に増え、今後の同窓会活動の新たな力になることを大いに期待しております。

私たちの母校・高梁高校は、地域に根ざした教育を大切にしながら、長い歴史の中で多くの優れた人を輩出してまいりました。そして、その礎には、地元の自然や

文化、そして地域社会とのつながりが確かに息づいております。私たちが青春を過ごした高梁は、今もなお穏やかで美しい風景に包まれています。中でも、高梁のまちが一年で最も賑わう夏の行事「松山踊り」は、ふるさとの原風景ともいえる存在です。太鼓や笛の音色、そして明かりに照らされた浴衣姿。そうした光景を思い浮かべるたび、青春の日々が鮮やかに甦ります。私たち同窓生にとっても、友との再会やふるさとへの帰郷のきっかけとなる大切な伝統行事であり、特に遠方に暮らす方々にとっては、故郷の温もりを感じられる貴重な時間ではないでしょうか。

昨年、高梁高校同窓会は東京・関西支部の皆様とともに「高梁高校の輪」に加わりました。懐かしい顔ぶれが集い、笑顔と歓声が高梁の夜空に響きました。今年もまた多くの同窓生がこの行事を通じてふるさととつながり、未来への一歩をともに刻むことができればと願っております。

毎年恒例の同窓会総会は、今年も松山踊りの初日である8月14日(木)に高梁国際ホテルにて開催されます。今まで参加されていなくても、今年も同窓会を機に高梁にお越しいただき、高梁の町を、そして松山踊りを楽しんでみられてはいかがでしょうか。

また、毎年盛況である東京支部同窓会、さらに関西支部同窓会も案内のとおり開催されます。こちらへも多くの皆様をお呼びしたいと思います。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。引き続き、同窓会活動へのご協力とご参加を心よりお願い申し上げます。



### 活躍するたか高生を応援してください

#### 校長 鳥越 信行

臥牛山の木々が夏の日差しを受けて一層緑を深め、高梁川の川面を渡る風が涼やかなひとときを運んでまいります。皆さまにおかれましては、益々ご健勝にて過ごのこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますこと、教職員一同、心より御礼申し上げます。

さて、生徒たちは校訓「向上進取」「天分發揮」「有終の美」精神のもと、学業はもとより、部活動や探究活動、国際交流など多岐にわたる教育活動に意欲的に取り組んでおります。ここでは、活躍するたか高生の様子を振り返ってみたいと思います。

家政科では、昨年度も家庭科技術検定において「四冠王」となる生徒が輩出されました。本校における四冠達成は、これで7年連続となり、7年連続を達成した学校は全国で5校のみでした。さらに、複数の生徒が同時に四冠を達成するという、6年ぶりとなる栄誉にも恵まれました。

普通科でも、大きな学力の向上がみられました。今春、過年度卒業生1名を含む延べ47名が国立大学に合格し、合格率は48%に達しました。特筆すべきは、入学時からの学力伸長率が260%という数値を示し、多くの生徒が飛躍的な成長を遂げた点です。難関大学においても健闘し、現役生から大阪大学2名、神戸大学2名、さらに過年度生1名が九州大学に合格、計5名が難関大学の門をくぐることとなりました。この実績は実に33年ぶりの快挙です。加えて、岡山大学には16名が合格し、こちらも28年ぶりとなる成果をあげています。これらの結果は、生徒の不断の努力と、日々の教育実践の積み重ねによるもので

あり、本校の教育の質の高さを改めて示すものであると自負しています。部活動でも、顕著な活躍が見られました。美術部葉廣煌さんの作品が、全国高等学校総合文化祭の岡山県代表として選出され、8月には「清流の国」ふ総文2024への出品を果たしました。また、男子ソフトボール部

は新見高校との合同チームとして岡山県秋季選手権大会を制し、13年ぶりの全国大会出場を果たしました。群馬県の新島学園高校との対戦では、延長戦の末惜敗しましたが、選手たちは力をこめ、実り多き経験となりました。出切り、実り多き経験となりました。心温まる交流を深めました。今後は姉妹校としての提携も予定しています。さらに、10月には姉妹校であるノーウッド・イン

タナシヨナル高校(オーストラリア)が、一週間にわたり本校を訪問し、多彩な文化交流を通じて友情を育むことができました。本校では現在、学校ホームページやSNSを通じて、日々の教育活動の様子を積極的に発信しております。どうぞ「高梁高校ファミリー」として、フォローや拡散、「いいね」で応援いただけますと幸いです。

今後とも本校は、地域に根ざした信頼の学び舎として、そして未来を担う若者たちの育成の場として、時代の変化に柔軟に対応しながら教育の質を高めてまいります。どうか今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、同窓生の皆様のおますご活躍とご多幸、そして家族の皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。



### 〈高梁高校有終館の歴史〉

高梁高校有終館は大正14年(1925年)に旧制高梁中学校創立30周年を記念して建築された図書館であり「有終図書館」と命名されました。蔵書は光風館にあった図書を受け継ぎ発展させたものです。その後、絵画部室や音楽室として利用された時期もありました。今日では「有終」などの高梁高校関連資料を保管する

書庫として利用されており、校内では「有終館」とよばれています。有終館では毎年「高梁高校有終館所蔵品展」を開催しています。ぜひ、お越しください。

開催日：令和7年10月31日(金)  
開館時間：9時～16時30分(入場無料)  
ところ：有終館(高梁高等学校正門脇)  
展示内容：高梁の歴史上の人物や本校にかかわりのある人物の作品を一般公開します。

- 作品展示予定の人物
- 山田 方谷(陽明学者、備中松山藩藩政改革者)
  - 板倉 勝静(備中松山藩主板倉家7代藩主)
  - 三島 中洲(大審院判事、二松学舎大学創設者)
  - 福西志計子(女子教育者、本校前身校の順正女学校創設者)

### 築100年を迎えた高梁高校有終館

### お知らせ

#### 同窓会総会のご案内

令和7年度の同窓会定期総会を次のとおり開催します。万障お繰り合わせの上、是非ともご出席いただきますようお願い申し上げます。

なお、総会後、懇親会を開きます。今年度の懇親会は、次の当番幹事学年の方を中心に催されます。こちらへのご出席もよろしく願います。

総会・懇親会の参加申し込みは2次元バーコードからお願いたします。



TEL 0866-211-0080  
会費 5,000円  
卒業後4年以内の同窓生は無料とします

#### 支部総会のご案内

△東京支部総会  
令和7年10月25日(土) 12時  
東京都千代田区平河野2-4-3  
ホテル ルポール麹町

△関西支部総会  
令和7年11月15日(土) 12時  
大阪市淀川区西中島5-14-10  
ニューオーサカホテル

日時 令和7年8月14日(木) 午前11時から  
場所 高梁国際ホテル  
高梁市正宗町2033

# 「温知寮・泉寮」リフレッシュプランへのご支援のお願い

高梁高校の生徒募集は、少子化、都市部への人口集中、生徒・保護者の考え方の変化等により、将来的には学校の存続も危ぶまれる厳しい状況が続いています。

そういった中、本校は令和6年度入試から、普通科の学区を全県学区にしました。その結果、旧学区以外からの入学生は、令和6年度16名、令和7年度25名で、全体に占める割合が大きくなり、遠隔地からの入学生も増加しています。

温知寮・泉寮は現在、高梁高校と高梁城南高校と共同で利用しており、寮生は1年次24名、2年次15名、3年次8名と、年々増加傾向です。間違いなく、両校にとって寮の存在がますます大きくなってきています。

しかし、温知寮・泉寮は改築後50年を経過し、老朽化が進んでいます。そこで、リフォームが不可欠と考え、ふるさと岡山・学び舎 環境整備事業を利用して、リフレッシュプランを立ち上げました。まずは、食堂を改修し、学びや交流を深めることができる食堂・学習室・交流室の整備を考えています。

目標金額は2,500万円ですが、途半ばです。個人の方の寄附額のうち2,000円を超える部分については、所得税や住民税から全額が控除されるため、寄附者の実質的な負担は2,000円です。また、企業からの寄附の場合、寄附

金の全額を損金算入することが出来ます。自己負担は最小です。申込用紙も同封してありますので、同窓会の皆様方には、後輩へのご支援よろしくお願いたします。

寄附申し込み方法はこちらの2次元バーコードから。ご不明な場合には、本校事務室までお問い合わせください。

TEL 0866-22-3047

金全額を損金算入することが出来ます。自己負担は最小です。申込用紙も同封してありますので、同窓会の皆様方には、後輩へのご支援よろしくお願いたします。

寄附申し込み方法はこちらの2次元バーコードから。ご不明な場合には、本校事務室までお問い合わせください。

TEL 0866-22-3047



## 令和6年度会務報告

- 令和6年
- 6月7日(金) 17:30 (個別による監査) 片岡監査、菅田監査、竹井監査
  - 18:00 役員会(応接室) 樋口会長他10名
  - 18:30 幹事会(会議室) 樋口会長他34名
  - 8月14日(水) 11:00 総会(高梁国際ホテル) 樋口会長他60名
  - 12:00 懇親会(高梁国際ホテル) 12:00
  - 11月16日(土) 東京支部総会 (東京都千代田区ルポール麹町)
  - 12:00 関西支部総会(ニユーオーサカホテル)
  - 令和7年 2月28日(金) 入会式(体育館) 樋口会長
  - 新入会者数 (家政科32名、普通科99名 計131名)

### 令和6年度 岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計決算書

収入の部			
科	目	予算額	収入済額
会費	費	424,000	416,000
総会懇親会費	金	150,000	255,000
寄付	金	800,000	731,000
繰越	金	535,491	535,491
雑収	入	9	9,117
名簿	取入	9,500	0
計		1,919,000	1,946,608

支出の部			
科	目	予算額	支出済額
会議	費	400,000	446,233
旅	費	120,000	109,740
消耗品	費	6,000	0
通信	費	579,000	617,597
印刷	費	123,000	125,290
渉外	費	3,000	0
慶弔	費	30,000	4,840
記念品	料	165,000	170,100
雑	費	50,000	43,149
予備	費	443,000	0
計		1,919,000	1,516,949

※収入済額(円) 1,946,608 支出総額(円) 1,516,949 次年度への繰越金(円) 429,659

### 令和7年度 岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計予算書

収入の部			
科	目	予算額	前年度予算額
会費	費	441,000	424,000
総会懇親会費	金	150,000	150,000
寄付	金	800,000	800,000
繰越	金	429,659	535,491
雑収	入	841	9
名簿	取入	9,500	9,500
計		1,831,000	1,919,000

支出の部			
科	目	予算額	前年度予算額
会議	費	450,000	400,000
旅	費	110,000	120,000
消耗品	費	6,000	6,000
通信	費	610,000	579,000
印刷	費	126,000	123,000
渉外	費	3,000	3,000
慶弔	費	30,000	30,000
記念品	料	0	165,000
雑	費	50,000	50,000
予備	費	446,000	443,000
計		1,831,000	1,919,000

## 進路状況

進路課長 遠藤 隆

近年、グローバル化の進展やテクノロジーの普及により、私たちが取り巻く社会環境は急速に変化しています。便利さや効率性は飛躍的に向上し、物理的な距離は縮まりましたが、その一方で、異なる価値観を持つ人々との対話や相互理解の難しさが、あらためて浮き彫りになってきています。

多様な意見を尊重し、他者と協働しながら社会全体で包括的に課題へ対応していくことは、より豊かで調和のとれた社会の実現には欠かせません。技術が日々進化を続ける今、私たちは単に便利さを享受するだけでなく、より深いコミュニケーションと相互理解をいかに実現していくかが、強く問われています。こうした社会的背景を受けて、学校教育にも変化が求められています。いわゆる「予測不能な社会」においては、変化に柔軟に適応でき、創造性を備えた人を育てていくことが求められています。教育改革の流れを受け、近年では入試制度も大きく変わりつつあります。総合型選抜や学校推薦型選抜の定員割合が拡大する一方、一般入試においても調査書や活動報告書を得点化する大学が増えています。

学力の三要素である「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力(人間性)」を、主体性や他者との協働の姿勢とともに、多面的・総合的に評価する傾向がますます強まっています。

新たな学習指導要領のもとで初めて実施された2025年度入試を振り返ると、大学入学共通テストの科目が大きく変更されたことも影響し、年内に合格を勝ち取るという「受験の早期化」の傾向がますます加速しました。

### 1. 令和7年3月卒業生進路状況

種別	合格者数	進学・就職者数			
		普通科	家政科	計	
進学	国公立大学	47	45	1	46
	私立大学	126	36	10	46
	国公立短期大学	0	0	0	0
	私立短期大学	3	0	3	3
	専修・各種学校	25	9	16	25
	予備校・その他	6	6	0	6
計	207	96	30	126	
就職	一般企業	2	0	2	2
	公務員	3	3	0	3
	計	5	3	2	5

そのため、総合型選抜・学校推薦型選抜では高倍率となるケースも多く、本校の生徒は昨年度以上に厳しい状況に直面しました。一方、一般入試では共通テストの平均点が前年より上昇したこともあり、生徒たちはおむね実力を発揮することができました。その結果、令和6年度卒業生として、普通科99名、家政科32名の計131名が、それぞれの目指すステージへと進みました。

普通科では、4年制大学への進学希望者86名のうち、国公立大学に47名(うち過年度生1名)の合格者を出すことができました。特に、大阪大学・九州大学・神戸大学など難関大学に5名が合格し、地元の岡山大学にも16名が合格するという成果を収めました。難関大学に5名以上が合格したのは33年ぶり、岡山大学への合格者が15名を超えたのは28年ぶりのことです。高梁高校から社会へと羽ばたいていく彼らが、それぞれの進む道で活躍していくことを、心から楽しみにしています。

今後は、急速な社会変化と少子化の進行は、大学の存続にも大きな影響を及ぼすと予想されます。受験のさらなる早期化や、デジタル人材の育成を目指した学部の新編も、今後ますます進展していくでしょう。こうした時代において、

代においても、「不易と流行」の精神を大切にしながら、本校が担う「社会の有為な形成者を育成する」という責務は、変わることはありません。未来を担う生徒たちの力を信じ、一人ひとりの個性と可能性を伸ばす進路指導を、今後もより一層充実させていきたいと考えています。

**国立大学**  
大阪大2名、九州大1名、神戸大2名、岡山大16名、鳥取大1名、島根大5名、山口大4名、香川大3名、愛媛大1名、高知大4名など、中国四国地方を中心に47名が合格しました。家政科からは、地元の新見公立大学に1名が合格しました。

**私立大学・短期大学・専門学校**  
立命館大3名、関西大1名、関西学院大5名、京都産業大1名、龍谷大8名、近畿大13名、甲南大2名、広島修道大1名など、近畿地方・中国四国地方の私立短大・専門学校に多くの合格者を出しました。家政科からも、1名の生徒が清心女子大に合格しました。

**就職**  
岡山県警に1名、高梁市役所に1名、高梁市消防局に1名、その他一般企業に2名が採用され、計5名が就職しました。

まず、今号の作成にご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。

先日美術部員と、学校から小高下谷川沿いに松山城方面へ散策しながらスケッチに行きました。ちょうど新緑と石垣のコントラストが、目に優しくすがすがしい気持ちになりました。本校ホームページには小高下谷川について「かつては御根小屋の堀代わりとなっていました」と紹介されています。実際にそこを歩いてみると、江戸時代から現代まで守られてきた石垣の歴史に触れることができました。

高梁高校を卒業して20年、30年たった同窓生の皆様も、是非城下町の家並みと高梁高校に立ち寄り青春プレイバックしてみてください。今も小高下谷川の石垣は皆さんを優しく迎えてくれると思います。

**主な支部・連絡先**

- 東京支部 支部長 佐々木 敦則 (第22回卒)
- 連絡先 前島 克好 (第24回卒)
- takayto@googlegroups.com
- 関西支部 支部長 藤岡 敏彦 (第24回卒)
- 連絡先 藤岡 敏彦 (第24回卒)

**SNSライブラリ・Instagram**

高梁高校の日常をより身近に感じただけのように、フェイスブック・Instagramの運用を行っています。たか高の今後輩の活躍の様子に加え、同窓会総会等の案内、同窓会支部の活動の様子、同窓生活躍の情報を発信しています。フォローになることでこれらの情報を共有し、高梁高校ファミリーとしてつながることが出来ます。2次元バーコードは、こちらです。

### 編集後記

